

講義名	研究演習Ⅱ（人）				
講義コード	45427	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 5時限
担当教員	水野 英莉			ナンバリング・コード	
学部・学科			演習分野		
人間社会学科、観光学科、人間健康学科、			水野英莉ゼミナール（ジェンダースタディーズ、セクシュアリティスタディーズ）		
概要説明					
社会学とジェンダー・スタディーズ、セクシュアリティ・スタディーズをテーマとしたゼミです。 今年度の研究演習Ⅱでは、主に次のことをやっていきます。 1、書評コンテストに出品（10月） 2、各自の研究発表（毎回4名程度） 3、ゼミ生共同でフィールドワーク 4、就活のための学内講習に参加 ただし、新型コロナウイルスの感染拡大等の理由により、予定通りにならないときがあります。 特に前期は遠隔による演習を展開します。各自、メールアドレスとパスワードの確認をしておいてください。毎週ゼミの時間には、アプリを使って各自の問題関心や研究テーマについてウェブ会議をします。アプリはMicrosoft Teams を使います。教員の指示に従ってください。					
主な卒業論文のタイトル					
・移住者の視点から見た地方暮らし（2022年度 学生懸賞論文コンテスト 三席受賞） ・誰もが電車を快適に過ごすためにはどうしたらいいか〜痴漢を予防し痴漢をなくす、車内設備・環境の改善〜（2021年度 学生懸賞論文コンテスト 二席受賞） ・カミングアウトによって構築される親子関係（2020年度 学生懸賞論文コンテスト 一席） ・流通科学大学におけるLGBTの現状と課題 ・朝鮮学校における多様性教育の必要性 ・障害者スポーツにおける感動ポルノの問題について（2019年度 学生懸賞論文コンテスト 佳作） ・男性・女性のファッション流行とその成り立ち（2017年度 学生懸賞論文コンテスト 佳作）					
教員よりの要望					
「楽しむために努力する」学生を歓迎します。熱意をもって研究を進めること、そして周囲の人への敬意を払うこと、コミュニケーションを大事にすることを学んでもらいます。					
選考方法					
研究演習Ⅰの成績評価、面談で判断します。					

評価方法	
積極的な姿勢と課題の提出を総合的に評価します。 欠席は忌引き病欠など相応の理由がないものは不可です。 欠席した分の課題は後日提出してもらいます。	
平常点（積極性、ワーク提出など）：10% 書評コンテストへの出品：40% 期末レポートの提出：50%	
教員英字氏名	研究室
Eri Mizuno	研究棟 V 5404研究室
最終学歴	
京都大学大学院文学研究科行動文化学専攻社会学専修	
学位	
博士（文学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
・『Just Surf-一ただ波に乗る』（見洋書房、2020） ・Multiple marginalization?: representation and experience of bodyboarding in Japan. lisahunter (ed.), Surfing, Sex, Genders and Sexualities(Routledge, 2018, 71-90). ・「不妊治療における民間医療の検討―漢方・鍼灸・ヨガの施術者と利用者の語りから」杉浦ミドリ、建石真公子、吉田あけみ、來田享子編『身体・性・生命―個人の尊重とジェンダー』（尚学社、2012、142-172） ・「ライフスタイル・スポーツとジェンダー―日本・アメリカ・オーストラリアのサーフィン選手の経験と女性間の差異―」『スポーツとジェンダー研究8』（2010、4-17） ・「スポーツと差別―キャスター・セメンヤ選手の『性別疑惑』問題をめぐって」好井裕明、町村敬志、藤村正之、荻野昌弘、稲垣恭子編『文化・メディアが生み出す排除と解放―差別と排除の（いま）3』（明石書店、2011、85-110）	
趣味・特技	
サーフィン、スノーボード	
所属	
人間社会学部 人間社会学科	
所属学会	
日本社会学会 関西社会学会 日本女性学会 日本スポーツ社会学会 日本スポーツとジェンダー学会	
専門分野	
社会学、ジェンダー・スタディーズ、セクシュアリティ・スタディーズ	
担当科目	
社会学基礎、社会問題論、ジェンダー論、家族社会学、健康社会学、スポーツ社会学、専門基礎演習、研究演習Ⅰ、研究演習Ⅱ、卒業研究	
備考	
研究演習Ⅱを履修する人の条件 1、欠席をしない（半期3回でアウト） 2、積極的に、好奇心を持って、自主的に学ぶ姿勢 3、ゼミ仲間と有効な関係をつくる 注意：（研究演習Ⅰを履修するだけでは受け入れません）	
実務経験の有無及び活用	